

# 地域が主役のまちづくり 地域サポーターの紹介

福祉課  
☎ 334



大槻 節子 さん  
(水子在住)

ふじみ福祉フォーラム21  
実行委員長

みんなが安心して暮らせるまちに

ふじみ福祉フォーラム21は、平成4年の市制施行20周年にあたり、富士見市にふさわしい福祉の在り方を考えることを目的に発足しました。「安心して暮らせる街をめざして」をメインテーマに、地域の通学路点検・道路調査などの活動や、各年のサブテーマに沿った講演・映画上演などを企画しています。

28回目となる今回のふじみ福祉フォーラム21(P20参照)は「あなたの笑顔がみんなのしあわせ」をサブテーマとし、重度の自閉症の当事者として、理解されにくかった自閉症者の内面を平易な言葉で伝えたベス



前回のふじみ福祉フォーラム21のようす

トセラ『自閉症の僕が跳びはねる理由』の著者・東田直樹氏と、直樹氏に寄り添ってこられた母である東田美紀氏に講演していただきます。近年は福祉も多岐にわたり、地域の中でも多くの福祉団体が活発かつ細やかに活動しています。その中で、ふじみ福祉フォーラム21の在り方も分岐点にあります。今だからこそ、献身的に活動している地域福祉の皆さんをつなぐ役割ができるのではないか、永年の先人たちの想いを引き継いでいけるのではないかと模索しています。地域の笑顔のために、一緒に活動してみようと思われる方はぜひお声がけください。

みんなで作る  
公共施設の「これから」

## 公共施設の「これから」

Vol.3

管財課 ☎ 554

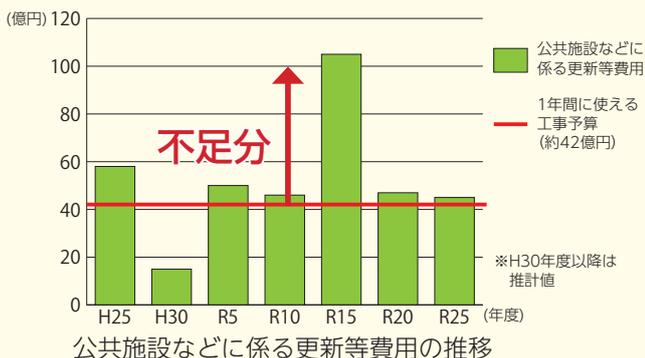
市では、社会情勢の変化や施設の老朽化などを踏まえ、今後の公共施設のあり方を考える「公共施設マネジメント」に取り組んでいます。

### 公共施設の更新費用の見通し

市の公共施設の改修や建て替えなどの工事を行う場合に、どれくらいの費用がかかるかご存知ですか。

下のグラフは、公共施設を想定耐用年数どおり更新(※)したときの費用の積み上げの推計値です。令和15年度では、年間100億円を超える費用が必要と想定されています。1年間に使える工事予算に対して大きく不足していることが分かります。

※更新とは…改修・建て替えなど機能回復・改善に係る工事のことです。



### 迫りくる「少子高齢化」の波

市の財源については、日本全国で進む「少子高齢化」を考慮する必要があります。市の歳出は公共施設の更新費用だけでなく、高齢化によって介護・医療費などの社会保障費も大きく増える推計です。また、財源となる税収も、納税者である生産年齢人口が少子化によって減るため、今後の推計も横ばいまたは減収となる見込みです。

公共施設を安心して安全に使うためには、財源の問題の解決が不可欠です。

